

# 新川中央病院 2025プラン

令和3年12月 策定

【新川中央病院の基本情報】

医療機関名：新川中央病院

開設主体：医療法人和伸会

所在地：愛知県碧南市松江町6丁目83番地  
(法人)：愛知県名古屋千種区今池南25番地5号

許可病床数：36床

(病床の種別)

地域一般

(病床機能別)

慢性期

稼働病床数：36床

(病床の種別)

地域一般

(病床機能別)

慢性期

診療科目：内科、消化器内科、小児科、外科、脳神経外科、皮膚科、心療内科

職員数：80人（令和3年12月1日現在）

- ・ 医師 17人（常勤：3人、非常勤14人）
- ・ 看護職員29人（常勤：12人、非常勤17人）
- ・ 介護職員14人（常勤：13人、非常勤1人）
- ・ 薬剤師 3人（常勤：1人、非常勤2人）
- ・ リハビリ3人（常勤：3人）（理学療法士）
- ・ 放射線技師2人（常勤：1人、非常勤1人）
- ・ 管理栄養士1人（常勤：1人）
- ・ 相談員2人（常勤：1人、非常勤1人）（社会福祉士・ケアマネ）
- ・ ケアマネ1人（常勤）：1人）
- ・ 事務職員7人（常勤：6人、非常勤1人）
- ・ 清掃員 1人（非常勤）：1人）

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

(人口の見通し)

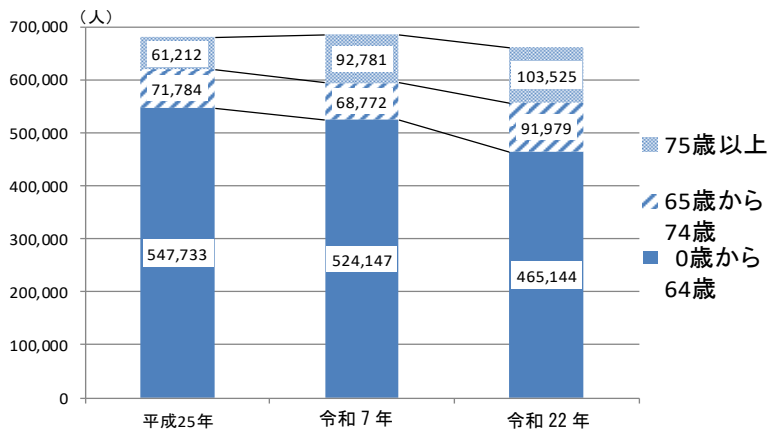
- 総人口は、令和7年(2025年)には微増し、令和22年(2040年)には微減します。65歳以上人口は増加していき、増加率は県全体と比べて高くなっています。

<人口の推移>

※ ( ) は平成25年を1とした場合の各年の指数

区分	総人口			65歳以上人口			75歳以上人口		
	平成25年	令和7年	令和22年	平成25年	令和7年	令和22年	平成25年	令和7年	令和22年
県	7,434,996 (1.00)	7,348,135 (0.99)	6,855,632 (0.92)	1,647,063 (1.00)	1,943,329 (1.18)	2,219,223 (1.35)	741,801 (1.00)	1,165,990 (1.57)	1,203,230 (1.62)
西三河南部西	680,729 (1.00)	685,700 (1.01)	660,648 (0.97)	132,996 (1.00)	161,553 (1.21)	195,504 (1.47)	61,212 (1.00)	92,781 (1.52)	103,525 (1.69)

<西三河南部西構想区域>



(医療資源等の状況)

- 人口10万対の病院の病床数は、県平均の75.5%ですが、療養病床数は県平均の115.5%と多く、精神病床数は35.0%と非常に少なくなっています。人口10万対の医療従事者数については、医師数が県平均の74.6%と少なくなっています。
- DPC調査結果(DPC調査参加施設:5病院)によると、構想区域内において、ほぼ全ての主要診断群の入院及び救急搬送実績があり、緊急性の高い傷病(急性心筋梗塞・脳卒中・重篤な外的障害)及び高齢者の発生頻度が高い疾患(成人肺炎・大腿骨骨折)の入院実績があり、区域内に急性期入院機能を有していると考えられます。
- 消防庁データに基づく救急搬送所要時間については県平均とほぼ同様であり、DPC調査データに基づく緊急性の高い傷病(急性心筋梗塞・再発性心筋梗塞、くも膜下出血・破裂脳動脈瘤、頭蓋・頭蓋内損傷)の入院治療を行っている施設までの移動時間は、30分以内で大半の人口がカバーされていることから、医療機関への交通アクセスや医療機関の受け入れ体制等に大きな問題が生じていないと考えられます。
- 高度な集中治療が行われる特定入院料の病床については、平成28年3月現在、構想区域内(4病院)において、救命救急入院料・特定集中治療室管理料(ICU)・新生児特定集中治療室管理料(NICU)・総合周産期特定集中治療室管理料(MFICU)・新生児治療回復室入院医療管理料(GCU)の届出がされています。

○ 平成 25 年度 (2013 年度) NDB データに基づく特定入院の自域依存率は高い状況にあります。

<医療資源等の状況>

区 分	愛知県①	西三河南部西②	②/①
病院数	325	22	—
人口10万対	4.4	3.2	72.7%
診療所数	5,259	388	—
有床診療所	408	29	—
人口10万対	5.5	4.3	78.2%
歯科診療所数	3,707	288	—
人口10万対	49.9	42.3	84.8%
病院病床数	67,579	4,674	—
人口10万対	908.9	686.6	75.5%
一般病床数	40,437	2,791	—
人口10万対	543.9	410.0	75.4%
療養病床数	13,806	1,460	—
人口10万対	185.7	214.5	115.5%
精神病床数	13,010	417	—
人口10万対	175.0	61.3	35.0%
有床診療所病床数	4,801	364	—
人口10万対	64.6	53.5	82.8%

区 分	愛知県①	西三河南部西②	②/①
医療施設従事医師数	14,712	1,005	—
人口10万対	197.9	147.6	74.6%
病床100床対	20.3	19.9	98.0%
医療施設従事歯科医師数	5,410	414	—
人口10万対	72.8	60.8	83.5%
薬局・医療施設従事薬剤師数	10,525	917	—
人口10万対	141.6	134.7	95.1%
病院従事看護師数	36,145	2,958	—
人口10万対	486.1	434.5	89.4%
病床100床対	49.9	58.7	117.6%
特定機能病院	4	0	—
救命救急センター数	22	2	—
面積 (km <sup>2</sup> )	5,169.83	364.25	—

(入院患者の受療動向)

○ 入院患者の自域依存率は、4 機能区分全てが 80%以上で、非常に高くなっています。また、近隣の 2 次医療圏からの流入も多くみられます。

<平成 25 年度の西三河南部西医療圏から他医療圏への流出入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

患者住所地	医療機関所在地														
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外	合計	
西三河南部西医療圏	高度急性期	20	*	*	29	*	*	*	*	*	283	*	*	*	332
		6.0%	—	—	8.7%	—	—	—	—	—	85.2%	—	—	—	100.0%
	急性期	39	*	*	70	*	*	*	12	12	848	*	*	*	981
		4.0%	—	—	7.1%	—	—	—	1.2%	1.2%	86.4%	—	—	—	100.0%
	回復期	32	*	*	47	*	*	*	14	*	917	*	*	*	1,010
		3.2%	—	—	4.7%	—	—	—	1.4%	—	90.8%	—	—	—	100.0%
慢性期	23	*	0	49	0	13	*	23	11	687	0	24	*	830	
	2.8%	—	—	5.9%	—	1.6%	—	2.8%	1.3%	82.8%	—	2.9%	—	100.0%	

<平成 25 年度の他医療圏から西三河南部西医療圏への流入入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

医療機関所在地	患者住所地														
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外	合計	
西三河南部西医療圏	高度急性期	*	*	*	*	*	*	33	13	38	283	*	*	*	367
		—	—	—	—	—	—	9.0%	3.5%	10.4%	77.1%	—	—	—	100.0%
	急性期	*	*	*	11	*	*	75	33	71	848	*	11	*	1,049
		—	—	—	1.0%	—	—	7.1%	3.1%	6.8%	80.8%	—	1.0%	—	100.0%
	回復期	21	*	*	36	*	*	82	42	72	917	*	*	*	1,170
		1.8%	—	—	3.1%	—	—	7.0%	3.6%	6.2%	78.4%	—	—	—	100.0%
慢性期	22	*	*	16	0	*	92	32	27	687	*	*	*	876	
	2.5%	—	—	1.8%	—	—	10.5%	3.7%	3.1%	78.4%	—	—	—	100.0%	

## ② 構想区域の課題

- 令和22年(2040年)まで65歳以上人口の増加率が県全体と比べて高いため、令和22年(2040年)までの医療需要の増大を見据え、必要な医療需要や医療従事者の確保を始めとする包括的な医療提供体制を中・長期的に考えていく必要があります。
- 回復期機能の病床を確保する必要があります。

## ③ 自施設の現状

- 「尊重・尊厳・尊信」「ご家族や地域の皆様とともにささえる」をグループのホームページでは掲げております。
- 入院料(地域一般3)、平均在院日数41日、病床稼働率36% (直近3ヶ月:10月~12月)
- 令和3年12月1日現在の職員数は80名で、内訳は医師17名、看護職員29名、介護職員14名、その他専門職12名、事務職員他8名です。
- 病院併設機能として、介護医療院では医療・生活機能向上リハビリの提供を行います。4機能のうち慢性期医療が中心であります。当院では介護医療院(介護保険)が中心となっております。  
また、急変時には一般病床での対応が可能です。
- がん地域連携パス、脳卒中地域連携パスに参加しております。  
特定健診、胃がん健診、脳ドックを実施していますが、医師の退職や高齢化に伴い、健診事業は縮小傾向にあり、慢性期病院における医師の確保が課題であります。
- 碧南市民病院、小林記念病院からの紹介が主な紹介元となっております。
- MRI装置、内視鏡装置等、医師の退職ならびに高齢化による稼働減のため、機器の維持、更新が困難な状況となっております。

## ④ 自施設の課題

- 介護医療院のメリットを地域医療機関、介護事業所へ積極的に発信してまいります。
- 一般病床・介護医療院の稼働を高めていきます。
- 慢性期病院における医師の確保を推進します。
- 看護師・看護補助・介護スタッフの不足に伴う補充。この3職種については特に確保が厳しい環境にあります。

## 【2. 今後の方針】

### ① 地域において今後担うべき役割

- 碧南市、西三河南部医療圏における介護医療院を併設した病院として、医療・生活機能の向上、リハビリの提供とともに、急変時には一般病床での対応を行う。

- 介護医療院を併設している利点を活かし、急性期病院、慢性期病院からの受け入れ、診療継続が難しい患者の受け入れを推進するとともに、医療機関のみならず、介護施設からの受け入れ困難な利用者も積極的に受け入れていく。
- 看取りやターミナルケアといった医療的ケアが行える施設として受け入れを推進していく。

② 今後持つべき病床機能

- 現病床の稼働率向上に努める。

③ その他見直すべき点

- 常勤医師の確保、特に必要な診療科医師の確保には困難を極めることから、手術、検査機能を抑え、非常勤医師を始め、診療科、診療内容を絞り込むことも必要。

【3. 具体的な計画】

① 4機能ごとの病床のあり方について

	現在 (令和元年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期			
慢性期	36		36
(合計)	36		36

- 病棟の大きな改修・新築等につきましては、現時点で予定はありません。

② その他の数値目標について

- 病床稼働率 65%

【4. その他】

- 医療（慢性期一般病床）、介護（介護医療院）両事業の機能向上に取り組み、西三河南部西医療圏における医療提供体制の構築に向けて、微力ではありますが、貢献できますよう取り組んでまいります。